

布ぞうり作り



去る3月3日(日)の午後1時～徳成寺において「布ぞうり作り」が行われました。

左の写真は2010年から、毎年指導して頂いていた地域サロン・山本さん家(前身は、夕映えの会)の皆さんです。今月3月末で、地域サロンの活動に区切りをつけるということで、最後に「布ぞうり作り」を指導して頂きました。本当に長らく、お世話になりました。この度、記念すべき200回目の寺ともサービスデーで、フィナーレを飾って頂けて、私たちとしても嬉しい限りでございました。

この日は、よく晴れていたのですが、とっても気温が下がっていました。しかし昨年末から敷き始めたホカホカカーペットのおかげで、皆さん快適に作業に取り組むことが出来たようですよ。



おなじみの展示即売も、ぞうり作りと並行して開かれました。最後ということもあり、好調な売れ行きの様子でした。



地域サロンのスタッフの皆さんも、もとは当寺の布ぞうり作りに参加したのがきっかけでのめり込んだ方もいらっしゃいます。その方曰く「十足ぐらい立て続けて編まないと覚えられない」ということでした。「手が覚える」とよく言いますが、その域に達するまでは辛抱が必要なようです。

一方参加者の皆さんにお話を伺うと、昔わらじを編んだりした経験がある方や、手芸好きで家族に勧められて来た方、そしてご自身の家族が、近所の人から布ぞうりをプレゼントされていたのを思い出して来た方、誘われてついて来てやってみたら、筋がいいとほめられた方まで様々です。

ぞうり作りを通して、普段はお会いできないような方とお喋りできるのも、楽しさの一つです。最後に皆さん作品を手にして満足そうな笑顔を浮かべて何よりでした。

